




流行性耳下腺炎(おたふくかぜ) 任意接種費用の一部助成のお知らせ

予診票は同封されていません。

接種時に区内契約医療機関で配布されます。

おたふくかぜの主要症状は、痛みを伴った耳下腺の腫れです。罹患すると、合併症をおこすことがあり、特に難治性である難聴合併への注意が必要です。品川区では、接種費用の一部を助成します。

対象者	1歳誕生日前日～小学校就学前年度末まで 日本小児科学会は、予防効果を確実にするため、 1歳頃に1回目、2回目を小学校就学前年度に接種することを推奨しています。
助成金額	1回あたり 3,000円 を助成(一人2回まで)
接種方法 (助成方法)	STEP① 同封の 品川区内の契約医療機関 で接種予約をお取りください。 ※他市区町村の医療機関や、品川区内でも契約のない医療機関で接種した場合は助成対象外です。 STEP② 接種日当日、医療機関から配布される予診票を使って接種します。 STEP③ 接種後、医療機関に3,000円を差引いた金額をお支払いください。
注意事項  【重要】 必ずお読みください。	<ul style="list-style-type: none">■ 流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)の予防接種は、保護者の判断で接種するかどうか決める 任意接種となります。予防接種法に基づかない任意予防接種は、万一ワクチン接種による健康被害が発生した場合でも、予防接種法の被害救済の対象にはなりません。■ ただし、業機法で承認されたワクチンを使用した場合に限り、独立行政法人医薬品医療機器総合機構法に基づく、副作用救済給付が適用されます。■ 新型コロナワクチンとの同時接種はできません。 互いに、片方のワクチンを受けてから2週間後に接種できます。(令和5年2月現在)■ 日本国内で販売承認されていないワクチンは、救済制度の対象になりません。 接種時に医師に確認をしてから接種を受けてください。

ワクチンについて

ワクチンの効果	1回の接種により90%以上の割合で免疫が獲得できます。 弱毒化が確かめられている生ワクチンで、1回0.5mlを皮下注射します。
ワクチンの副反応	接種後2～3週間後に発熱、頭痛、嘔吐を呈する無菌性髄膜炎(1人/2,100人程度) 急性血小板減少性紫斑病(1人/100万人程度) 発熱、耳下腺腫脹、接種局所の発赤・腫脹などは軽度で一過性に経過

品川区保健所 保健予防課 ☎ 5742-9152

品川保健センター ☎3474-2225 大井保健センター ☎3772-2666 荏原保健センター ☎ 5487-1314